

理事長就任挨拶

2020年8月3日
一般社団法人 日本原子力産業協会
理事長 新井 史朗

この度、日本原子力産業協会の理事長を拝命いたしました新井史朗でございます。理事長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

エネルギーを取り巻く環境の変化は激しく、長期的な見通しが不透明なものとなっています。資源に乏しく、海外からの輸入に大きく依存する我が国の低いエネルギー自給率は、近年深刻さを増す地球温暖化問題への対策を進めながらも改善していかなければならない、国家安全保障上の課題です。

原子力発電は、この地球温暖化対策を前進させながら、大量の電力を安定して供給できる重要なベースロード電源として、大きな役割を果たすものです。

一方、現在国内で稼働する原子力プラントは9基にとどまっており、原子力発電が有する価値を十分活かせていません。原子力産業界は、さらなる安全性の向上を継続的に進めるとともに、残るプラントの再稼働、運転期間の延長や設備利用率の向上など、既存炉の有効活用を図らねばなりません。また、将来を見据えた新增設・リプレースにも取り組んでいかなければなりません。

原子力の活用には立地地域の方をはじめ国民の皆さまからの信頼が不可欠です。我が国や世界が直面する諸課題に対する原子力発電や放射線利用の果たす役割を丁寧に伝え、その価値を国民の皆さまと共有することが必要です。

当協会は、社会の持続的発展に貢献する原子力のさらなる活用に向け、原子力の理解活動や諸課題の解決、事業環境の整備などに努めてまいり所存です。会員の皆さまをはじめ、関係する組織・機関との連携・協力を図りながら全力で取り組んでまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上